

令和5年度 学校関係者評価

学校名

加古川市立加古川中学校

1 学校教育目標 「自らを律し、ともに学び合う生徒の育成」 - 3School Project 充実で well-being の向上を - Smart Tough Heartful

2 本年度努力目標

- (1) 3School Project(Smart SDGS NIE)の推進
- (2) 命を尊び、自他を大切に、いじめを許さない、豊かな人権意識をもつ生徒の育成
- (3) 生徒の学力向上を図るための学習指導の工夫・改善 (ICT活用、スマート探究学習等)
- (4) 学校運営協議会及び加古川ユニット教育推進協議会による地域とともにある学校の充実
- (5) 学校組織力及び教職員の資質能力 (VSOP) の向上

A:できている B:だいたいできている C:あまりできていない D:できていない

	評価項目	達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ(学校関係者評価)	達成状況
1	進んで学習に取り組む	B	ICTを積極的に活用し、個に応じた指導の充実を図るとともに、興味・関心をもって主体的に学習に取り組む姿勢や学び続ける生徒の育成に努める。また、家庭と連携し、家庭学習の充実を図る。	限られた授業時数の中でICTを活用した協働学習の機会を設けるなどよくできていると思います。また、MEXCBTの充実で、より学習に興味を持って主体的に取り組む生徒が増えてくるように思います。家庭との連携は、スクリーンでの情報発信を継続して行うことで、より充実させてください。	B
2	適正な部活指導	A	ガイドラインに基づき、体力や技術の向上を図るだけでなく、生徒の人権や人格を尊重した指導や自主性を尊重した指導を心がける。	生徒がのびのびと活動しているように感じます。限られた時間の中で運動部、文化部とも良い成績を残しています。頑張っている生徒、指導者ともに高く評価します。しかし、クラブチームとの差、部活担当教員の負担等が課題になっていると思います。	A
3	あいさつ・会釈を励行する	A	生徒の模範となるよう、教職員自らがあいさつを心がけ、実践するとともに、生徒会のあいさつ運動をさらに充実した活動になるように努める。	すれ違うたびに挨拶や会釈をしてくれる生徒や先生も多く、とても気持ち良く感じます。日頃の取り組みの成果が出ていると思います。生徒会活動も更に活性化することを期待します。	A
4	いじめを絶対に許さない集団づくり	B	「いじめ防止基本方針」の基本理念のもと、正確かつ積極的認知に努める。また、生徒会活動や人権学習、生活相談アンケート等を利用して未然防止、早期発見・早期対応に向けた取り組みを積極的に行う。	大きな課題であると思います。取り組みが困難ことも多いですが、問題が起きたときの対応もよくされていて先生は生徒を信用していると思います。今後も未然防止に向けて、心の通い合う指導をお願いします。	B
5	学校行事等の工夫	A	行事の目的や効果を検証し、PDCAサイクルを活用しながら内容の精選や改善をしていく。全職員が協力し、全校生で取り組める行事にしていく。	時間的な制限の中、年間行事をこなすことは大変であると思いますが、各行事の目的に応じた工夫と効率的な取り組みができていていると思います。これからも、生徒が同じ目的に向かっていくことの達成感を味わえる活動をお願いします。	A
6	勤務時間等の業務改善	C	ICTを効果的に活用することで校務の効率化を図り、連携・分担による業務改善を一層推進していき、教職員の負担軽減を図る。また、タイムマネジメントの研修等を行い、時間を上手に使う方法等を模索しながら、職員の働き方に対する意識を変えていく。	ICTを効果的に活用することはできていると思います。どんな仕事も100%の効果をあげることは不可能です。今でも十分改善等出来ていると思いますが、さらなる自己研鑽を重ねてください。また、教職員の意識を変えることは難しいことですが、取り組みを継続的に行うことで、効果は出てくると思います。	B